



8. ၂၀-နှစ်ကြာ သိမ်ဟောင်းခြေင့်
သိမ်နုတ်ပွဲ ကျင်းပခြင်း။

7 November 2017



日本上座仏教修道会



8. 21年間存在した上座仏教修道会の
旧シーマー(戒壇)
土地解除の儀式

仏暦 2561年 平成 29年
11月7日(火)

**ケサラ大長老をはじめ 10名のミャンマー比丘サンガご来庵
～比丘サンガ 40日間のご活動 (14の儀式)～ 第8回**

◎浄心庵精舎の古いシーマー (戒壇)
土地解除の儀式



2017年11月7日(火)午後3時30分、浄心庵精舎から徒歩10分のところにある、21年間存在しつづけた、上座仏教修道会、浄心庵精舎の古いシーマー(戒壇)の土地解除の儀式を行いました。

この解除された古いシーマー(戒壇)の土地は、1996年7月28日(日)比丘サンガの代表であるケサラ大長老の許可を得て、ニャーヌッタラ大長老とスマナ比丘を含む8名の比丘サンガによって、認定されました。

そして、この度、ケサラ大長老は、比丘サンガの責務を担って、ワーヤーマーウダ大長老とニャーヌッタラ大長老に指示され、比丘サンガによって、浄心庵精舎の古いシーマー(戒壇)の土地は解除されました。

(マッジマ パティパダー通信誌 No.77 P10 参照)

**8. 21年間存在した
上座仏教修道会の
「旧シーマー(戒壇)土地解除の儀式」**

ニャーヌッタラ大長老ご説法

11月7日(火)午後3時30分、浄心庵精舎から徒歩10分のところにある、21年間存在し続けた上座仏教修道会浄心庵精舎の旧シーマー(戒壇)の土地解除の儀式を行いました。

解除するために、お釈迦さまが説かれた「Simā samūhanana kammavācā」が比丘サンガによって唱えられました。解除されたその土地は、普通の土地になりました。

この解除された旧シーマー(戒壇)の土地は、1996年7月28日(日)ミャンマーの比丘サンガの代表であるケサラ大長老の許可を得て、来日したケサラ大長老、セヤードー(ニャーヌッタラ大長老)、スマナ比丘を含む8名の比丘サンガによって、初めて浄心庵のシーマー(戒壇)として認定されました。そしてこの度、ケサラ大長老は、比丘サンガの責務を担って、ワーヤーマーウダ大長老とセヤードーに指示され、比丘サンガによって、浄心庵精舎の古いシーマー(戒壇)の土地は解除されました。

1996年のシーマー(戒壇)認定後、セヤードーは、一人で日本に残り、お釈迦さまの教えが伝わるために、日本語を勉強して、日本の皆さんに法を伝えるために正精進でがんばってきました。

この21年間の間、地震や台風などの影響などで、シーマー(戒壇)の周りは、大きな損傷を受け、さらに、2011年3月11日の東日本大震災では深刻な破損が生じました。

そして、この度2017年11月3日(金)、ケサラ大長老とセヤードーを含む20名の比丘サンガによって、新しいシーマー(戒壇)が浄心庵敷地内に実現しました。

このような原因で、21年間存在したシーマーは、比丘サンガによって、「シーマー(戒壇)の土地解除の儀式」を経て、土地解除されました。



◎大長老、初めて日本で托鉢をされた道をお弟子様方と歩く



旧シーマー(戒壇)への参道

2017年11月7日(火)午後4時頃、シーマー(戒壇)の土地解除の儀式終了後、大長老が初めて来日された1996年と1997年の2安居を、シーマー(戒壇)の隣の小屋で過ごされていた時期に、初めて日本で托鉢をされた道を弟子たちと歩かれました。日本で純粋なお釈迦さまの教えを伝えるために、ニャーナッタラ大長老のご苦労と、並々ならぬご努力によって、浄心庵精舎が存在していることを改めて識る得難い機会となりました。ミャンマーから来日された若いお弟子様方も、比丘サンガとしての責務を果たされている大長老に、尊敬合掌礼拝されました。

～比丘サンガのご縁に喜び溢れる～

夕方になり、浄心庵のお迎えの車で、比丘サンガの皆さまを、近くの海岸までご案内いたしました。

肌寒くなったところへ、近くにお住いの津田幸子さんご夫妻が、大長老と比丘サンガに気づかれ、ご自宅に招待され、暖かい飲み物をご供養されました。

ニャーナッタラ大長老をはじめ比丘サンガの皆様は、津田さんご夫妻と、ご家族の皆様をはじめ、津田さんの土地・建物の神々に、慈経、護経、厄除経を念じ唱えられました。ご夫妻は、大変喜ばれました。

津田さんは、平成22年に代表吉田が講師を務めていた、茨城県鹿行生涯学習センターの「ヴィパッサナー瞑想実践法」講座に参加され、それ以来、浄心庵精舎内で開催している「心と身体健康法」講座に参加して、瞑想実践や、お釈迦さまの教えの実践法を勉強して来られました。

2017年11月9日(木)午後3時、約20年振りに来庵されたケサラ大長老のご体調を伺い、浄心庵精舎近隣をご案内いたしました。近くの海岸へお連れし、次の場所へと移動中に、通行中の津田幸子さんに再会しました。津田さんは、この度の浄心庵シーマー(戒壇)認定儀式にも参加され、ケサラ大長老を、お目にかかるのは2度目となり、たび重なる比丘サンガとのご縁に大変喜ばれ、尊敬合掌礼拝され、祝福を賜わりさらに喜びました。

